

幕末から明治にかけて、時代を駆け抜けた5人の男たち。
日本を変えるため、命を懸けて海を渡った彼らを人は
「長州ファイブ」と呼んだ。

長州ファイブ

全編字幕入り
遂に登場!!



山尾庸三 (密航当時26歳)

工業を興し近代化を進めるには人材を育てることが不可欠だと考え、工部大学校(現在の東京大学工学部)を設立、日本工学の父となる。また、日本初の盲啞学校を設立。



伊藤博文 (密航当時22歳)

明治の新政府要職を歴任後、1885年、内閣制度をつくり、初代内閣総理大臣に就任。憲法草案をまとめ、大日本帝国憲法として発布するなど、立憲政治の確立につとめた。



井上馨 (密航当時20歳)

工事責任者として日本初の新潟・横浜間の鉄道を開通させる。以後、新潟・神戸間、東京・青森間開通など、日本の鉄道開発に情熱を傾け続け、日本鉄道の父と呼ばれる。



遠藤謹助 (密航当時27歳)

学業半ばにして、体調を崩し、1886年、無念の帰国。帰国後、大阪造幣局長を12年近くもつとめ、造幣局整備に尽力。大阪造幣局の名物「桜の通り抜け」は彼の発案になるもの。



井上馨 (密航当時28歳)

幕府の第二次長州征伐に対して諸隊を率いて戦い、倒幕のきっかけとなる。1885年第一次伊藤内閣で外務大臣に就任、維新外交の始祖となった。



劇場公開作品

2006年東京国際映画祭「日本映画・ある視点」公式出品作品

第40回ヒューストン国際映画祭グランプリ受賞作品

特典

- 史実「長州ファイブ」長州ファイブの理解が深まるスペシャル・ブックレット
- オフショットミニフォトブック(16P)

全編字幕入りDVD発売決定

DVD1枚

¥3,990(税込) ¥3,800(税抜)

※仕様、デザイン等は都合により予告なく変更する場合がございます。

CAST 松田龍平 山下徹大 北村有起哉 三浦アキフミ 前田倫良 原田大二郎 榎本孝明(友情出演) 寺島進 泉谷しげる
STAFF 監督/脚本:五十嵐 匠 製作総指揮:前田登 製作顧問:岡本 要 エグゼクティブプロデューサー:水野 清 ラインプロデューサー:藤原慎二 撮影:寺沼範雄(JSC) 照明:山川英明
録音:堀内戦治 美術:池谷仙克 編集:川島章正 スクリプター:宮下こずゑ 監督補:桑原昌英 音楽:安川午朗 CGプロデューサー:河上憲雄 製作:映画「長州ファイブ」製作委員会/クロカル・ピクチャーズ

©2006長州ファイブ製作委員会
文化庁 平成17年度文化庁映画芸術振興事業支援作品 2006年/日本/16:9 スクイズ/ドルビー/119分

